

※民数記 13:30; 14:3

カレブ：「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」

イスラエルの民：「なぜ主は、私たちをこの地に導いて来て、剣で倒そうとされるのか。私たちの妻子は、さらわれてしまうのに。エジプトに帰ったほうが、私たちにとって良くはないか。」

※1 サムエル記 17:11, 32

イスラエルの民：「サウルとイスラエルのすべては、このペリシテ人のことばを聞いたとき、意気消沈し、非常に恐れた。」

ダビデ：「あの男のために、だれも気を落としてはなりません。このしもべが行って、あのペリシテ人と戦いましょう。」

○五つのパンと二匹の魚：五つの場面

1. _____(1-4)

▶「その後」

▶「ユダヤ人の祭りである過越」

※申命記 18:15

「あなたの神、主は、あなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のようなひとりの預言者をあなたのために起こされる。彼に聞き従わなければならない。」

2. _____(5)

※マタイ 14:10-13

「彼は人をやって、牢の中でヨハネの首をはねさせた。そして、その首は盆に載せて運ばれ、少女に与えられたので、少女はそれを母親のところに持って行った。それから、ヨハネの弟子たちがやって来て、死体を引き取って葬った。そして、イエスのところに行って報告した。イエスはこのことを聞かれると、舟でそこを去り、自分だけで寂しい所に行かれた。…」

※マルコ 6:31-32

「そこでイエスは彼らに、「さあ、あなたがただけで、寂しい所へ行って、しばらく休みなさい」と言われた。人々の出入りが多くて、ゆっくり食事する時間さえなかったからである。そこで彼らは、舟に乗って、自分たちだけで寂しい所へ行った。」

※マルコ 6:33

「ところが、多くの人々が、彼らの出て行くのを見、それと気づいて、方々の町々からそこへ徒歩で駆けつけ、彼らよりも先に着いてしまった。」

※マタイ 14:14

「イエスは舟から上がると、多くの群衆を見、彼らを深くあわれんで、彼らの病気をいやされた。」

※マルコ 6:34

「イエスは、舟から上がられると、多くの群衆をご覧になった。そして彼らが羊飼いのいない羊のようであるのを深くあわれみ、いろいろと教え始められた。」

3. _____(6-9)

▶ピリポ

▶アンデレ

※民数記 14:8-9(カレブ)

「もし、私たちが主の御心にかなえば、私たちをあの地に導き入れ、それを私たちに下さるだろう。あの地には、乳と蜜とが流れている。ただ、主にそむいてはならない。その地の人々を恐れてはならない。彼らは私たちのえじきとなるからだ。彼らの守りは、彼らから取り去られている。しかし主が私たちとともにおられるのだ。彼らを恐れてはならない。」

※1 サムエル記 17:37(ダビデ)

「獅子や、熊の爪から私を救い出してくださった主は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してくださいます。」

「信仰は自分がどこに導かれているのか知りません。しかし、導いておられる方を愛し、知っているのです。」
(オズワルド・チェンバース)

4. _____(10-13)

5. _____(14-15)

※ルカ 9:23

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」